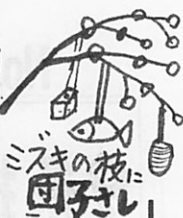


お正月
元日は大正月
15日は小正月



九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No. 295
2017(平成29)年 1月15日(日)発行

明けましておめでとうございます。 “戦い”をさせないために“闘い”しましょう。
今年は○西暦2017年・平成29年・干支は丁酉(ひのと)とり ◆明治でいうと150年
(1868年が明治元年) ◆大正106年(1912年が大正元年) ◆昭和92年(1926年が昭和元年)
そして ○終戦から72年 ○「日本国憲法」施行(1947(昭和22)年5月3日)から70周年
□2019年から新年号になるのか? □もう「年号」なんてやめた方がいいという意見も出ていますが...

<会長あいさつ> 今年も9条は正念場です

はらまち九条の会 会長平田慶肇

皆さん明けましておめでとうございます。

わが「はらまち九条の会」は、昨年設立11周年を迎えました。

安倍首相は今年の年頭挨拶ではっきりと憲法改悪に向けての構えを見せておりますので、今年は我々憲法を守る側にとっても、正に正念場となりました。

何としても憲法九条を守り、我が国を戦争に向かわせるような事態は絶対に避けねばなりません。

皆さんの益々の御協力と御支援をよろしくお願いいたします。



<1月8日(日)成人式> 今年から南相馬市が『憲法』冊子を配布

本会は「憲法を読もうチラシ」と「ピースコーヒー」を手配り



▲1月8日午後、成人式会場の原町区
ゆめはっと前で、新成人を祝福。

○成人式の新成人に『憲法』冊子を手渡す本会の活動は、2008年1月以来昨年まで9年続きました。○今年から南相馬市が昨年5月に発行の『日本国憲法』冊子を新成人に配布することになりました。○そこで本会では「憲法を読もうのチラシ」(会報No.294)と「ピース9(ナイン)

♡おしんドリップバッグです!



コーヒー」<左写真>を、約450名の新成人に「おめでとうございます」と言葉をかけながら手配りしました。○配布は事務局員9名と協力会員4名の総勢13名で。「“ピースコーヒー”を飲みながら“憲法”を読んで素晴らしさに気づいてくれるといいね」と話合いました。

<これからの活動> ○憲法記念日の全市新聞へ、折り込みチラシも原稿を検討中です!

○5月3日(水)憲法記念日・憲法施行から70周年記念○

鈴木安蔵の故郷小高区・浮舟文化会館で、立正大学名誉教授金子勝氏の講演会
憲法学者の金子勝氏は、現憲法の間接的起草者鈴木安蔵に師事されました。

同時に、小高区出身の鈴木安蔵を主人公に2006年制作の映画『日本の青空』の
上映会も共催で開催の予定です。復興を祈念するため小高区で開催します。

○6月18日(日)はらまち九条の会総会・憲法の学習会○

会員の思いや意見を語りあいましょう! 会場:原町区小川町 南相馬市福祉会館

小学館版☆学習まんが☆『日本の歴史』

9条提案が「幣原」から「マッカーサー」に入れ替わる

○昨年12月配布の国会報No.292で、「第9条の戦争放棄は幣原喜重郎首相の提案」により「憲法の押し付け論は破綻」と掲載しました。○ところが、昨2016年11月6日

『東京新聞』1面トップ記事によると、小学館のまんが『日本の歴史』旧版では「戦争放棄は幣原喜重郎首相の提案」となっているのに、改定の新版では「戦争放棄はマッカーサーの提案」と変わっています。なぜ変わったのか、監修者の学習院大学元学長児玉幸多氏は2007年に死去し、当時の編集担当者も退社して不明ということです。

○図書館から『日本の歴史』を借用し、コピーで比べてみました。



▲小学館の学習まんが『日本の歴史』第20巻 新しい日本・表紙



マッカーサーが提案したように
変わっています……



▲1983(昭和58)年9月初版第3刷の、『日本の歴史』第20巻 新しい日本の102ページ。当時の幣原首相が「戦争放棄」を提案し、マッカーサーが「大賛成」と答えています。

▲ところが、1994(平成6)年2月発行の同本第35刷では、逆にGHQのマッカーサーが「戦争放棄」を提案しているように変えてあり、右の幣原は黙っています。そして現在販売中の同本には、この場面はなくなっています。

○どうしてもこのように改変されたのでしょうか。

○今月出版の塩田潮著『日本国憲法をつくった男』

朝日文庫は、9条発案者としての幣原の伝記です。

憲法の「平和主義」の源流は 敗戦翌月の「昭和天皇勅語」か

現代語訳の勅語(1945.9.4・帝国議会)

私は、終戦に伴う多くの苦しみを克服し、わが国の真価を発揮し、信頼を守り道義を果す努めを世界に知らしめ、**平和国家を確立**して、人類の文化に貢献することを希求し、ひとときも忘れることなくこの大業を成し遂げようと思っている。

◇今年1月4日『朝日新聞』1面トップ記事によると、敗戦後初の帝国議会開院式(敗戦から3週間後の1945年9月4日)で昭和天皇は、「平和国家を確立」という文言を<左記>の勅語で述べています。◇「戦争国家」から「平和国家」へ転換するこの勅語こそが、国民の「憲法憲法9条・平和主義」の源や土壌になり、憲法が押し付けでない証しのひとつです。